



# 里山通信

## 『蒲沢(かばさわ)』

第15号

平成18年11月30日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎



「枝打ちは、良質な木材を作るだけでなく森を守るための大切な作業です。」

11月26日(日)、枝打ち体験の講習会を実施しました。今回は、大沢市民センター主催の「里山自然塾」の受講生の皆さん(15名)と「仙台市民の杜をつくる会」の皆さん(5名)も参加され、総勢42名で枝打ち体験を行いました。仙台森林管理署からは、高橋さんが指導に来てくれました。幸い天気にも恵まれ、ヒノキ林の中でお昼近くまで作業を行いました。枝打ちとは、節が

ない材木作りや、林のなかに光があたるようにするため、木の下の方の枝を落とす作業です。初めて参加された方からももっと続けたかったという声があがるほど楽しく作業が出来ました。作業終了後、豚汁がふるまわれ、参加者一同、大変おいしくいただきました。なお、この日は、私たちが助成を受けている花王の「都市緑化基金」の担当者の方がわざわざ東京から視察に来られました。会終了後、懇談しましたが、私たちの実際の活動を見ていただけたのでとてもよかったです。

